

神戸市 農業職 職務ガイド



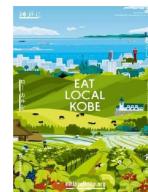
大消費地の近くにある豊かな自然を活かした
「神戸らしい農漁業」をすすめています。



1. 神戸市の主な取組みを紹介します！

食都 神戸 ～食で賑わい、食で人々が集う都市戦略～

豊かな農水産物がある農漁業地域と都市が近接している神戸のポテンシャルを活かし、食で賑わい、食で人々が集う都市戦略です。



● 地産地消の推進

“神戸産の農水産物を食べよう”を合言葉に市民と一緒に神戸の地産地消をすすめています。

・ ファーマーズマーケット

民間事業者と連携し、マーケットを推進しています。農産物の販売だけでなく、地元の飲食店とタッグを組み、それらを素材として様々な料理やパン、スイーツを提供しています。



・ 神戸食材の活用

神戸産農水産物の魅力を発信しながら、飲食店や料理教室等で神戸食材の活用を推進しています。

BE KOBE 農産物 ～新たなブランドの発信～

環境に配慮した神戸産農産物の新たなブランド化を進めており、消費者をはじめ、飲食店や小売店などの利用促進を図っています。



「BE KOBE」農産物ロゴマーク



● 基準

環境に配慮した方法で栽培
・化学肥料由来の窒素成分が慣行の7割以下
・こうべ再生リン配合肥料の利用
・市内産堆肥の利用 など

「神戸・里山暮らし」 ～神戸ならではの暮らし方～

豊かな自然と都心との距離が近い、神戸ならではの“里山暮らし”をすすめています。



● 農村定住促進コーディネーターの配置

「農村定住促進コーディネーター」が里山暮らし相談会や地域住民とのマッチングを行い、スムーズな移住につなげています。



● 空家を活用した地域の拠点づくりの事例

農村地域への移住・起業促進を図るため、空家バンク運営や法規制緩和、改修補助を行い、空家を活用した移住起業を支援しています。



一十土（北区大沢町） C-farmCafe（西区平野町） はなとね（北区淡河町）

● 里づくりによる地域振興

伝統文化の保存や農業体験、自然体験イベント等を開催する地域を支援し、都市部住民との交流を図っています。



農村体験

花摘み体験

農村歌舞伎

2. 農業職の仕事ってどんなもの？

①新たな発見を楽しみながら仕事に
励んでいます
西農業振興センター 則光紗絵子
(平成28年度採用)

1. 仕事の内容

関係機関の方々と話し合い、農家の方の経営計画を作成する仕事です。計画作成時の面談では、工夫されている栽培方法や今後の経営方針をお伺いしたり、病害虫など困っておられるごとにに対し、解決方法を検討しています。



2. 現場にて

面談は会議室で行いますが、時には実際に農家の方が栽培している田や畑へ行き、栽培状況を教えていただきます。机上では分からない農業の工夫や、今の产地でできた成り立ちなどを教えていただける良い機会となっています。



3. メッセージ

神戸市では、野菜や果樹、花卉など多様な農産物が生産されています。様々な分野で活躍されている農家の方と接し、現場の声に耳を傾けながら、一緒に神戸の農業を支えましょう。

②神戸の農水産物を知ってほしい
農水産課 松嶋 大貴
(令和4年度採用)

1. 仕事の内容

あまり知られていない神戸には農村や漁港があり、多種多様な農水産物があります（秋鮀野菜からはじまり、いちごやいちじく、海苔やらすなど）。そのような漁業地域と都市が近接している特徴を活かし、食で販わり、食の人々が集う都市戦略「食都神戸」を推進しています。私は、その中でもフーマーズマーケットなどを通して、貢える場所、知つてもらおう機会を作る仕事をしています。

2. 幅広い仕事

神戸市は、国や県と違い農業分野を通して幅広く様々な分野と関わることができます。農業を通じたコミュニケーションの場づくりや、農村を利用したツーリズムなど、様々な方と関わる仕事でつながりながら仕事を行っています。その分知らないことも多く、農家や漁師、事業者と話す中で勉強の日々です。

3. メッセージ

農業職は採用数が少ない分、競争力が強いといふことが多いところだと思います。先輩方にいろいろ教えてもらひながら、一緒に神戸をいい街にします。



③こうべ旬菜で市民に笑顔を！
農水産課 梅基 弘宣
(平成25年度採用)

1. 仕事の内容

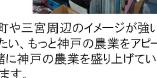
神戸市では、平成10年から安全安心な野菜として、化学農薬や化学肥料を半減して栽培された「こうべ旬菜」という地元ブランドを推進しています。こうべ旬菜はすべて市内で生産されているため、鮮度がいいんです！こうしたこうべ旬菜の生産拡大や消費拡大、PR活動を行うのが私の仕事です。

2. 視野を広げる

農業や野菜だけではなく、様々なものに興味をもって接するようにしています。自分の仕事以外にも職場の向側の動きを見ても、どんなことに忙くなっているか、どんな仕事をしているのか全体を把握できるように籍一杯頑張っています。

3. メッセージ

予算規模は国・県よりも小さいですが、それを基に生産者の声や、それを基に考えた意見が、政策や業務に反映されやすい感じています。都市近郊という強みを生かし、生産から販売・消費まで、一気通貫の農業振興に興味がある方、ぜひ神戸市を受験してみて下さい。



※①～⑥の所属は経済観光局

④相談される職員を目指しています
西農業振興センター 森井 友也
(令和3年度採用)

1. 仕事の内容

畜産振興ラインとして、主に肉牛振興に携わっています。神戸ビーフのコンテスト開催などのPR業務や、生産者団体の事務局として講習会開催、牧場巡回、補助事業の実施等を通じて生産しやすい体制づくりをしています。

2. 心がけていること

生産現場の現状を知らなければ、良いアイデアは生まれないので、現場の生産者へのアリングを大切にしています。専門知識があればより深い話ができるので、日々勉強中です。小さなことでも、相談してよかったですと思ってもらえるような職員を目指しています。

3. メッセージ

予算規模は国・県よりも小さいですが、それを基に生産者の声や、それを基に考えた意見が、政策や業務に反映されやすい感じています。都市近郊という強みを生かし、生産から販売・消費まで、一気通貫の農業振興に興味がある方、ぜひ神戸市を受験してみて下さい。



⑤神戸市の農業施設を後方から支えています。

農水産課 内田 淳貴
(平成27年度採用)

1. 仕事の内容

神戸ワイヤーラー六甲山牧場など神戸市内の農業施設の管理を行っています。各施設の運営がスムーズに進むよう必要な予算を確保したり、現場職員とのやりとりを行っています。普段は事務作業や電話でのやり取りを通した仕事が中心ですが、施設に出向き、自分の目で確認することも大切な仕事です。



2. 印象に残っている出来事

私の担当している施設は広大な面積のものが多く、生い茂った竹やぶに入り、敷地境界の確認を行う機会がありました。地図上で確認するのとは違い、現地の状況が今でも印象に残っています。

3. メッセージ

就職先としていろいろな選択肢がありますが、人生の中で大切なターンギボインの一つなので、様々なところに足を運び、自分の目で見てしっかり選んでください。ホームページや紹介パンフレットからはわかりにくい各々の雰囲気を感じてみてください。

⑥農業から見た村づくり

北農業振興センター 中尾 浩平
(平成27年度採用)

1. 仕事の内容

自分の仕事の一言でいうなら、「農業から見た村づくり」です。農業体験イベントや、農村地域の集落計画づくりなどに携わっています。

2. 仕事をする上で必要なこと

神戸市内の地域によって農業の特色が異なります。仕事をする上で、このことをよく理解しておく必要があります。また、各法令・制度などの用語の十二分な理解は必須です。

3. 神戸市農業職で出来ること

神戸市は農産物の生産地と消費地が近く、双方立場から仕事に携わることが出来ます。また、国・県よりも農家さんの生の声を聞いて仕事をすることが多いです。

4. メッセージ

例えば「神戸の農業に携わる」といっても、色々な道があります。自らが就農するというのと、一番「神戸の農業に携わる」にこだわるかもしれません。「市職員の立場で神戸の農業に携わりたい」という方は、ぜひ神戸市農業職を受験してみてください。



⑦地域を支えて。

北区総務部まちづくり推進課 羽丹 雄亮
(平成25年度採用)

1. 仕事の内容

農業に留まらない様々なことに携わっています。例えば、地域課題解決のため、新たに事業を始める地域団体への支援や、区の特徴となる茅葺きに関する、「農村歌舞伎上演会」の開催への支援等を行っています。一方で、こうした机上の事務に終わらず、イベントや地域と関わる形で外に行くことが多い職場です。

2. 印象に残った、区役所における予算決算の仕事

区役所全体では、いくつかの部局から予算が割り当てられています。そのなかで、まちづくり推進課では、各課において実施する区の特色ある事業の予算に関する取りまとめを行っています。その事務は異動後1年目の右も左もわからない中で挑戦しました。しかし、上司や周囲の職員に助けをいただきことでやり遂げることができ、すぐ勉強になりました。



3. メッセージ

技術職はいえ、区役所のように幅広い仕事を進めていくこともあります。そのため、農業に限らず、広く市のことや世の中の情報・動向を気にしておく方がいいと思います。

3. 神戸市内の農漁業の概要



4. 農業職員のあれこれ

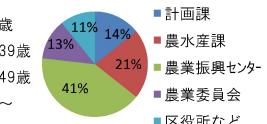
男女比率



年齢構成



配属先



ある農業職員の一週間スケジュール

	日	月	火	水	木	金	土
午前			担い手育成検討会議	新規就農者現地調査	新規就農者面談	補助事業現地確認	イベント手伝い出務(月1回程度)
午後			事務処理	事務処理	補助事業事務処理		
時間外				残業	ノー残業	残業	プライベート